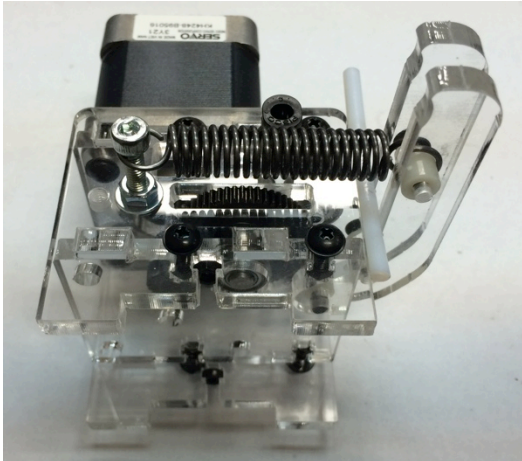


B キット組立てマニュアル

b-6 フィーダの組立編

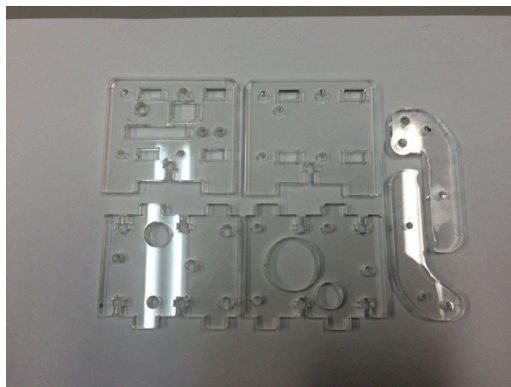
フィラメント材料を送るフィーダーを組み立てます。



アクリルパーツを多用しています。
アクリルは非結晶で透明度が高い一方で、割れやすいのでネジの締めすぎには注意が必要です。



フィーダーのパーツを準備します。
アクリルのレーザーカット部品と、袋 4 個に分かれています。
レーザーカットパーツはネジ穴等の追加工済みです。
レーザーの焦点の関係で断面が斜めの部分がありますが、気にせずに組立進めて下さい。



まず枠から亚克力パーツを外して保護紙を剥がします。
水に浸漬すると容易に剥離できます。
※水で剥離後はよく水気を取って下さい。
アームの組立



この亚克力パーツとスプリングの入った袋を準備します。

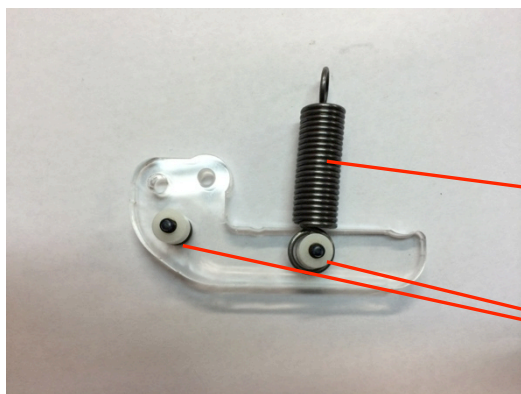
アーム 2

アーム 1

※アーム 1 と 2 を間違えないようにしてください。



アーム 1 の写真の穴にネジを通します。
ねじは M3-14 トラスネジ



ひっくり返してスペーサを通しスプリングを写真の位置に通します。

スプリング

スペーサ 厚さ 6mm 内径 3.2



二本のネジをアーム 2 のネジ穴に固定します。



M4-10 トラスネジ

ベアリング 624ZZ

を準備します。



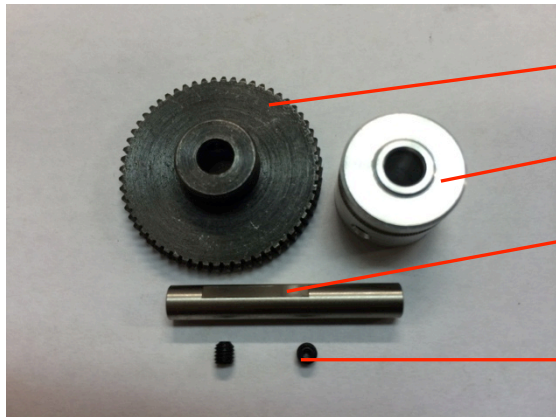
トラスネジをベアリングに通し、
アーム 1 の図の位置のネジ穴に固定
します。

※割れない程度に締めてください。

ドライブの組立



ギヤの入った袋を準備します。



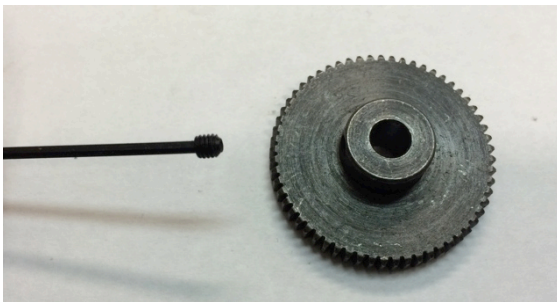
ギヤ大 MP0.5 歯数 60

ドライブロール

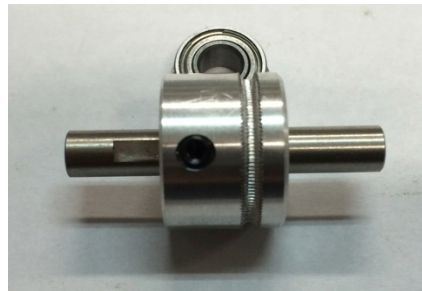
ドライブシャフト

M3-3 ホーローセット

この部品を使用します。



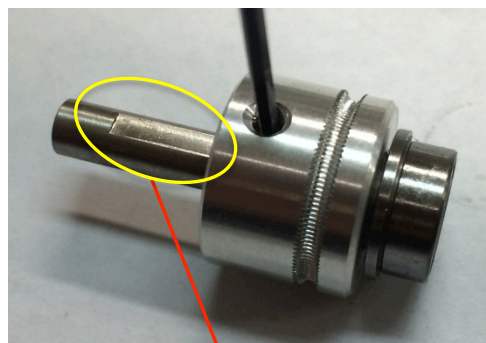
ギヤ大とドライブロールにホーローセットを仮止めします。



ドライブロールをドライブシャフトに通します。

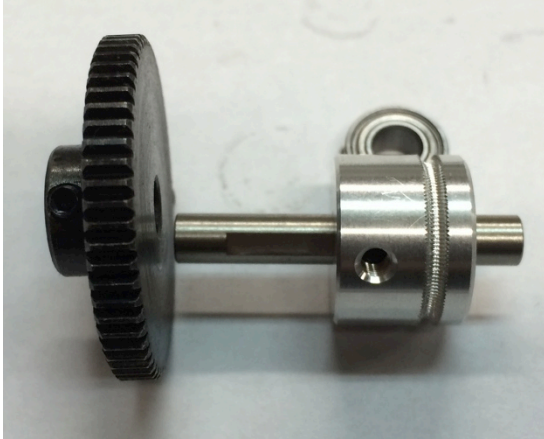


軸端と面位置

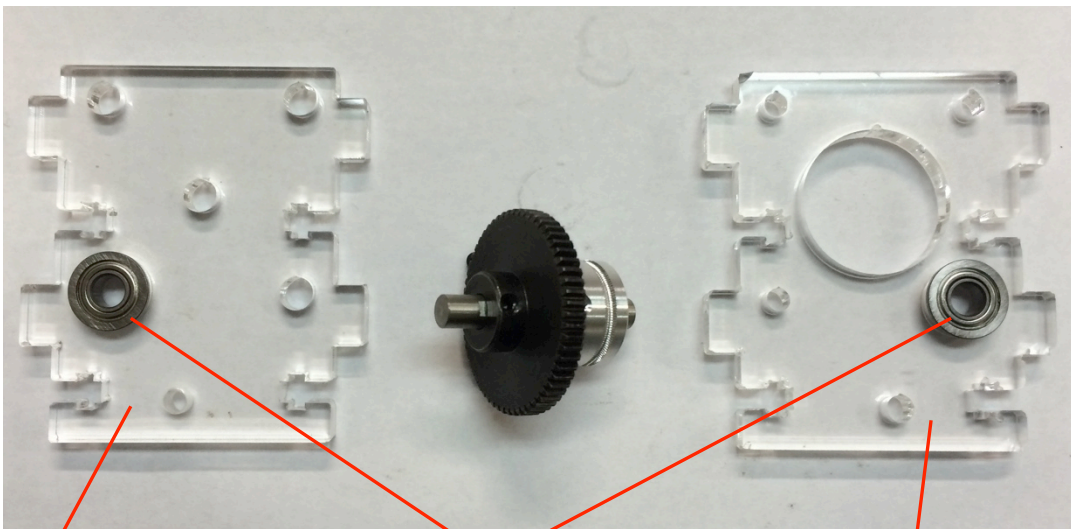


シャフトの平面部で固定

ドライブロールの固定位置を合わせるために、ベアリングを入れて軸端を合わせ、仮止めしたホーローセットを本締めします。



この向きでドライブロールとギヤ大をピッタリ付けてギヤを固定します。



サイドプレート 1

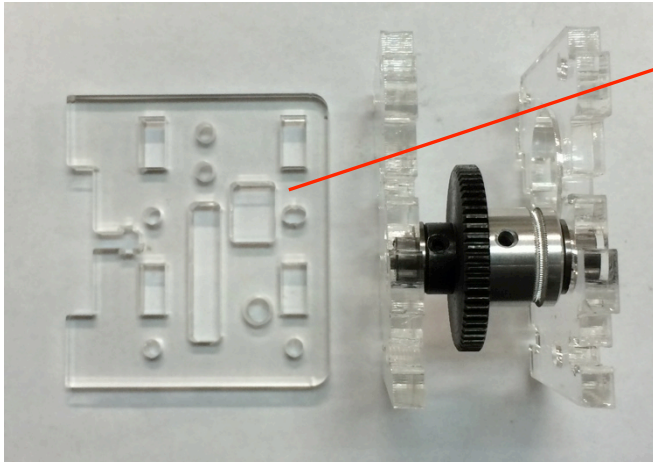
ベアリング

サイドプレート 2

写真のようにサイドプレートを置いて上からベアリングを押し込みます。

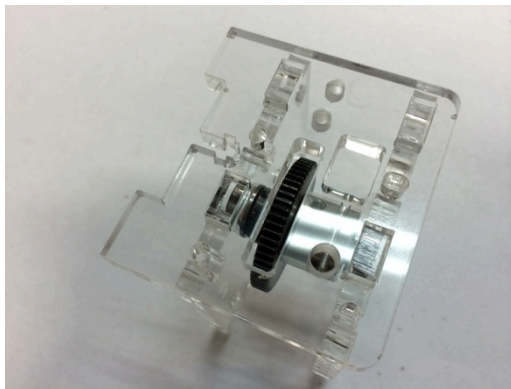


ベアリングにドライブシャフトを通し、
サイドプレートで挟むように配置します。
※ベアリングのフランジ(鏝)は内側です。

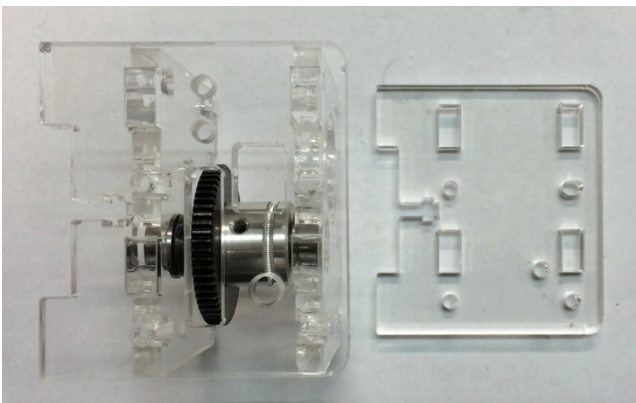


トッププレートを写真の方向に置きます。

四角い穴を合わせながら上から乗せます。

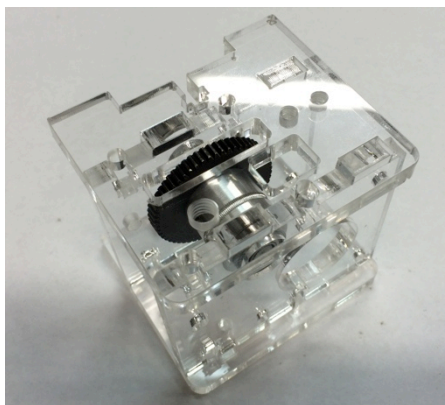
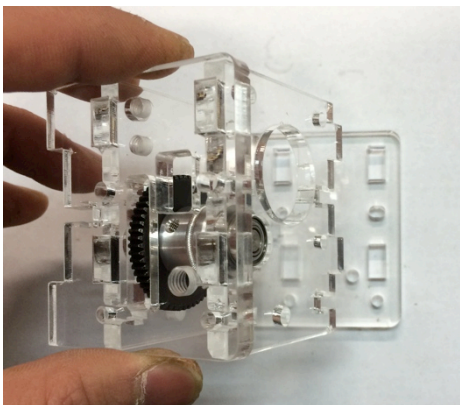


このようになります。



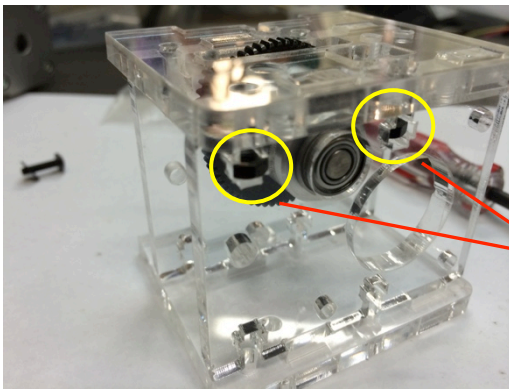
ボトムプレートを写真の方向に置きます。

四角い穴を合わせながら、はめ込みます。



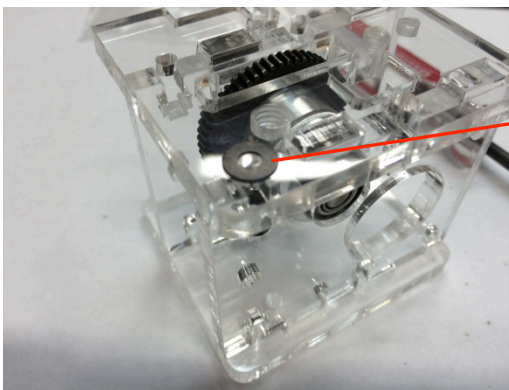


ネジ・ナット・ワッシャの入った袋を準備します。

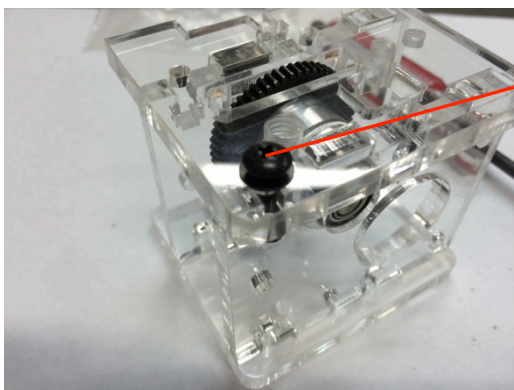


トッププレート 4箇所
ボトムプレート 4箇所
ネジを仮止めします。
※仮止め。きつく締めないで下さい

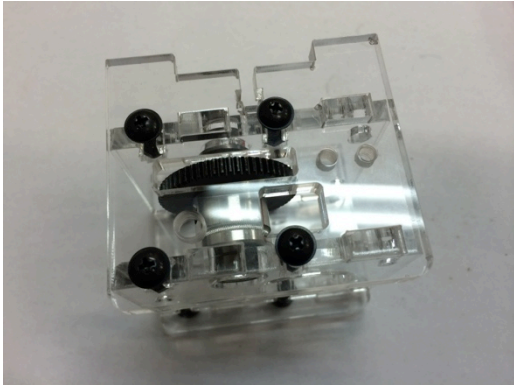
ナットを溝にセット



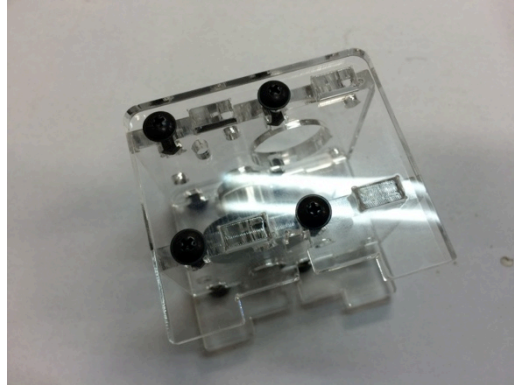
穴に平ワッシャーを置く



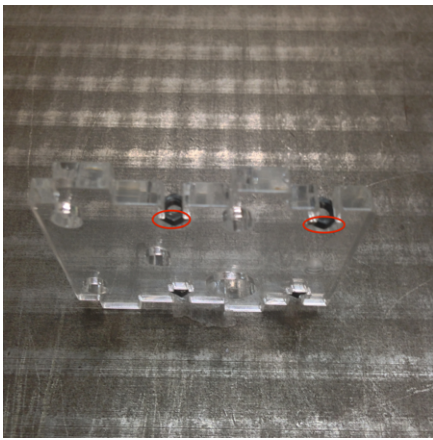
トラスネジで締めます
M3-12



トッププレート面

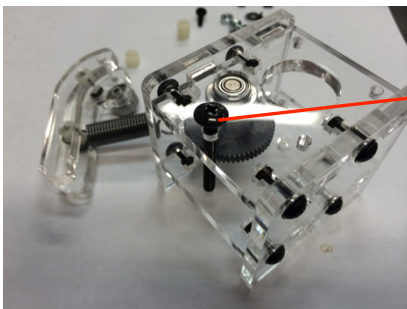


ボトムプレート面



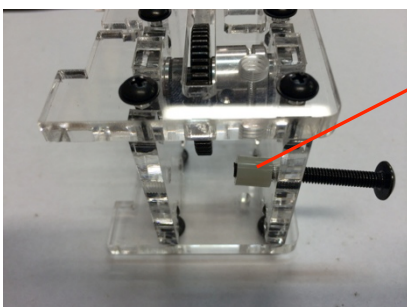
※ ナットをセットする際、アクリル平面にナットの角が出るように置きます。よく見るとナットを入れるレーザーで切った入射側からは入りやすくなっています。ナットが入りにくい場合は、無理せずに入れる方向を変えたり、ヤスリで少し削ったりして入れて下さい。アクリルは亀裂が入りやすい材料です。注意して作業して下さい。

アームの取付

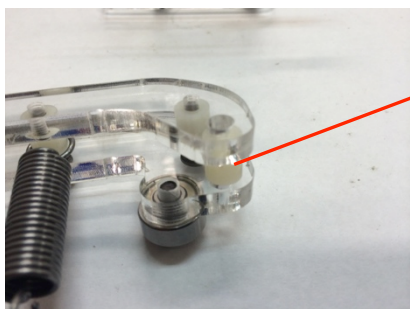


残り 1 つの袋から長いネジを出します
M4-35 トラスネジ

このネジを支点にアームを取付ます。

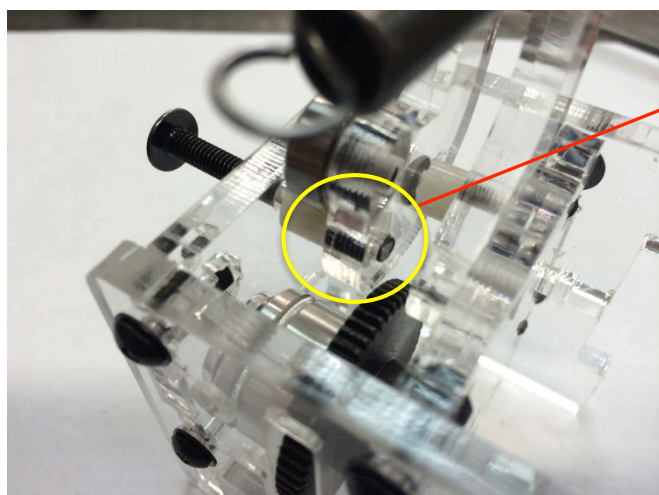


厚さ 8mm 内径 4mm のスペーサー

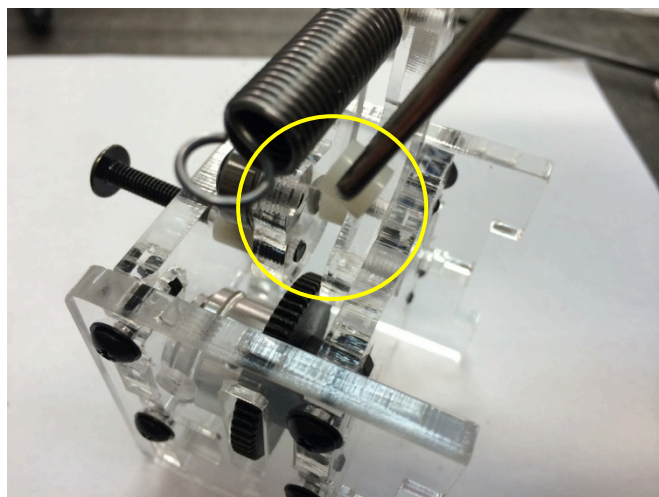


厚さ 6mm 内径 4mm のスペーサー

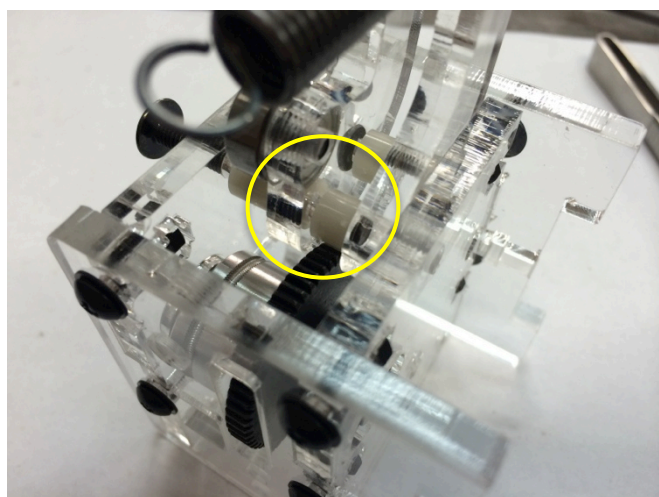
穴に合わせてアームの中に入れます。
※この時点でも取り付け時に落ちます。
入れる位置の確認です。



ネジをアームに通します。



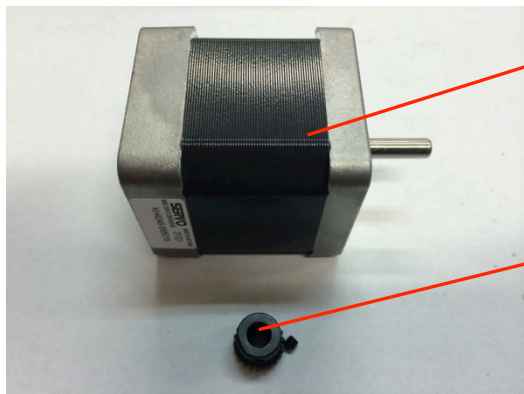
ピンセット等で 6mm のスペーサーをアームの間に入れてネジを通します。
※これは少し難しいです。落ち着いてやれば出来ます。



うまく通りました!

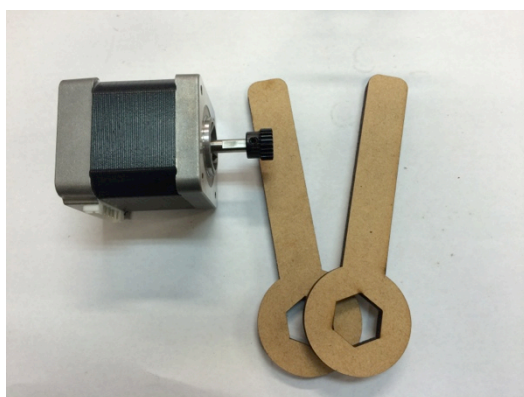
ネジを奥まで入れて締めます。※締めすぎるとアームが動かなくなります。ドライバーを回して止まったら 30 度が目安です。

フィーダーモーターの取付

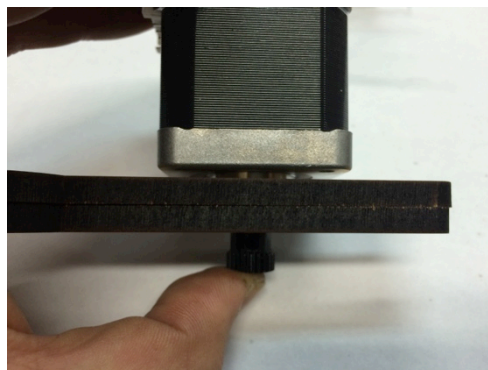
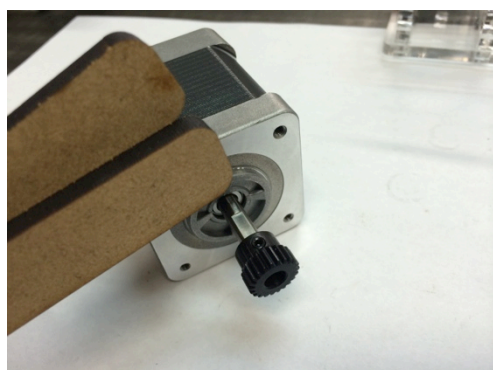


大きいモーター

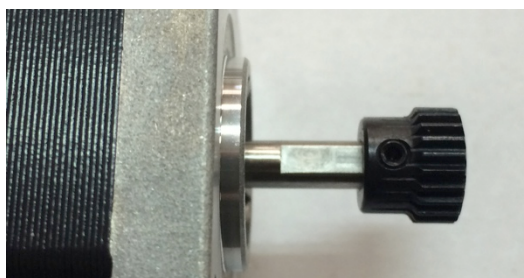
ギヤ小
M3 ホーローセット



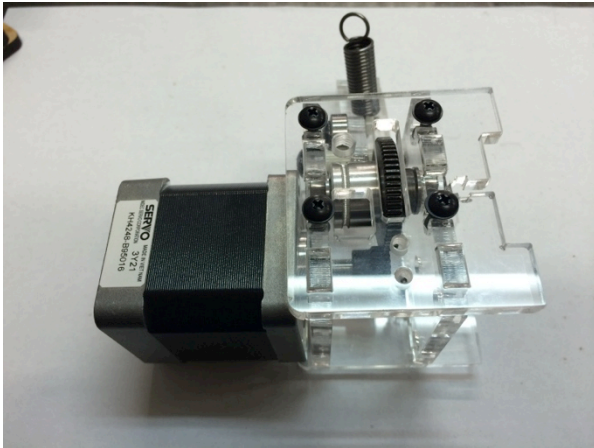
メガネレンチ二つ



メガネレンチを二枚重ねて写真のようにモーターとギヤで挟みます。
この位置でギヤを固定します。

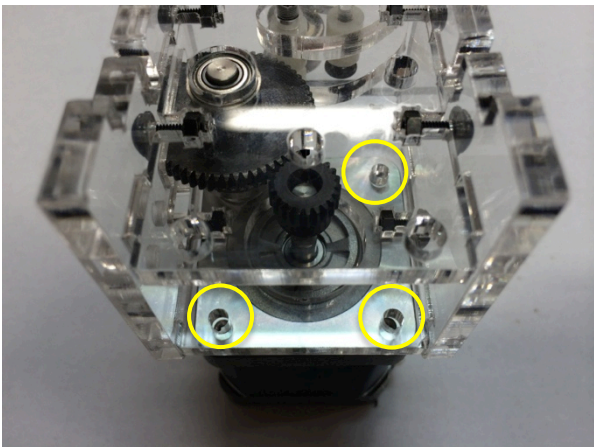


締め付けの際、モーターシャフトの D
カットの平面とホーローセットを合わ
せて下さい。



写真のようにモーターをセット
します。

シール面が上向きです
コネクタ面が下向きです



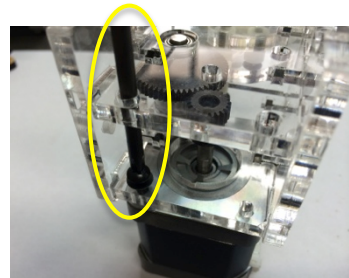
黄色丸 3箇所 でモーターを固定
します。



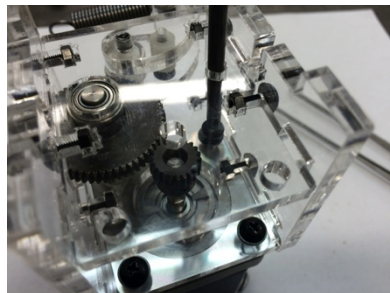
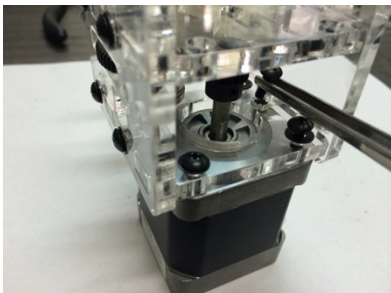
ワッシャー
※3箇所仮止めします。



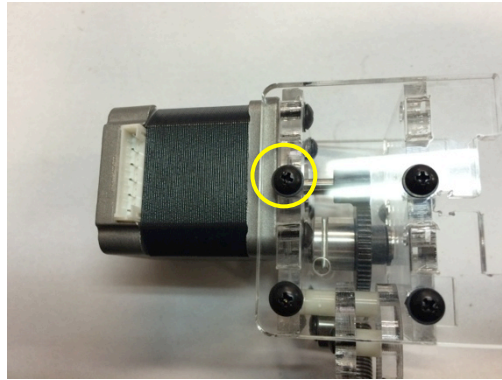
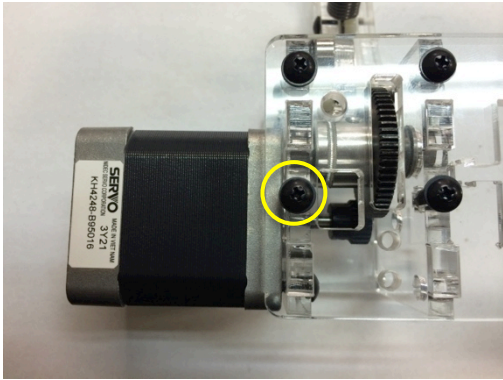
M3-10 トラスネジ



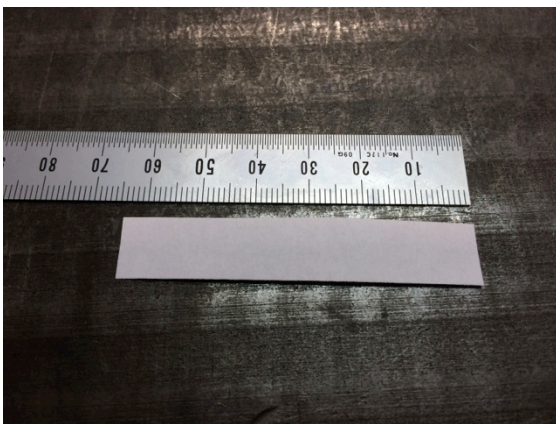
ドライバで仮止



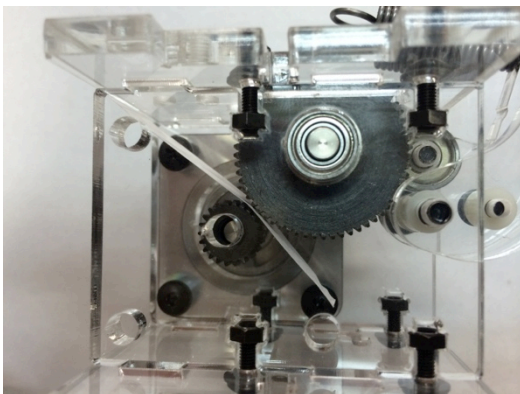
奥のネジはピンセット等を使用して下さい。 仮止めです。
まだきつく締めないで下さい。



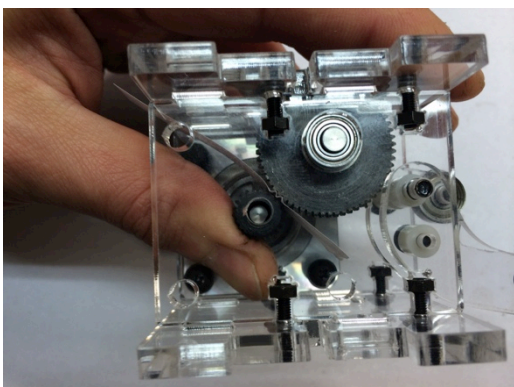
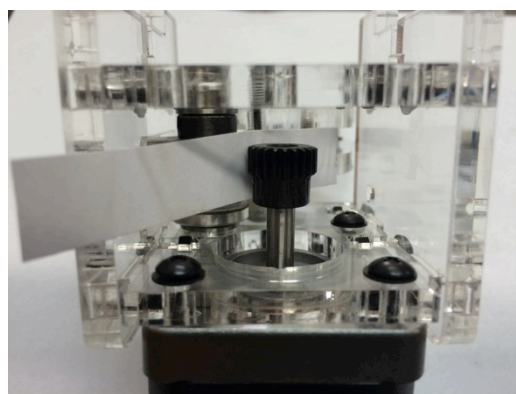
モーターを本締めする前に、黄色丸のネジをゆるめて下さい。二箇所
(注意)このネジが締まった状態でモーターのネジを締めるとナットと干渉し
てサイドプレートにクラック(ヒビ)が入ります。



モーターを固定する際に、ギヤ大と
ギヤ小の隙間を作るために、写真の
ような紙を一枚用意します。
コピー用紙です。

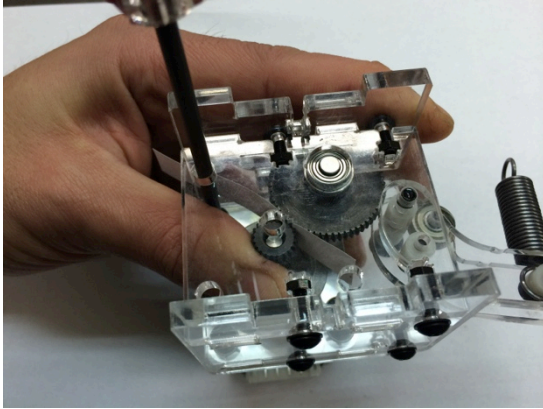


ギヤの間に紙を挟みます。



ギヤ小を親指で押えてムギュッとギヤ
大に押さえつけます。



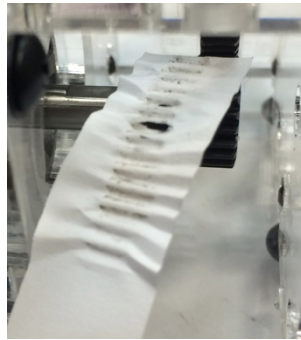


押さえつけ状態で 3 本のモーターのネジを本締めします。

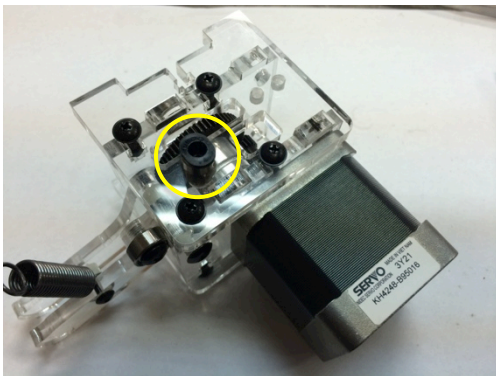
その後トッププレート 4 本
ボトムプレート 4 本のネジを締めます。本締めです。
※アクリルは割れやすいので、締めすぎに注意して下さい。



ギヤを指で回して紙を取り除きます。



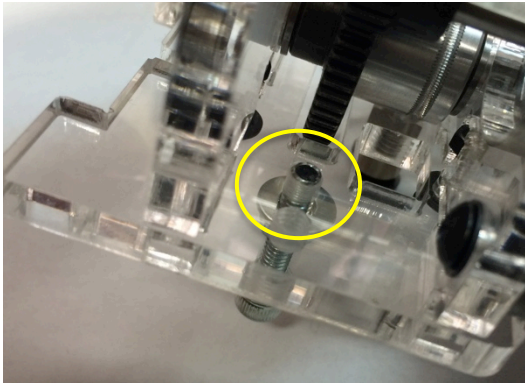
※紙を取り除いた後、カタカタと僅かにギヤ間の遊びが有るのが適正です。



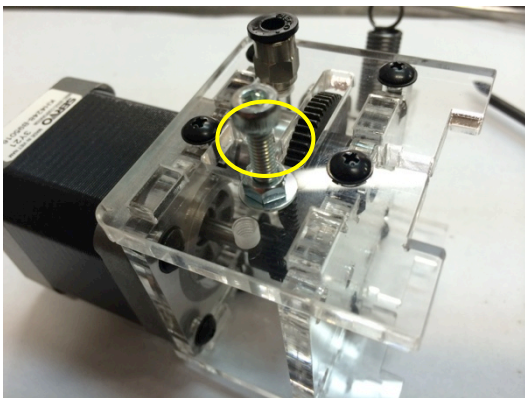
チューブ継手を手でネジ込みます。



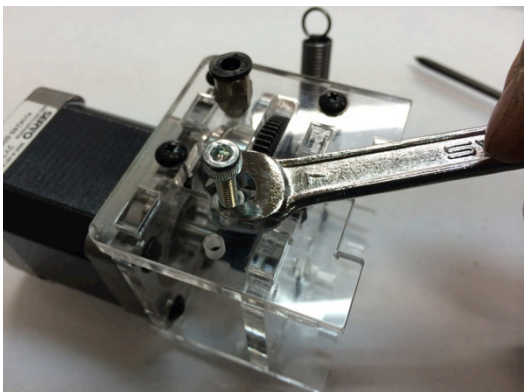
M4-20 キャップボルト
M4 平ワッシャ
M4 ナット
を写真の穴に取り付けます。
※ネジ穴二箇所あります。ギヤに近い方のネジ穴に入れてください。



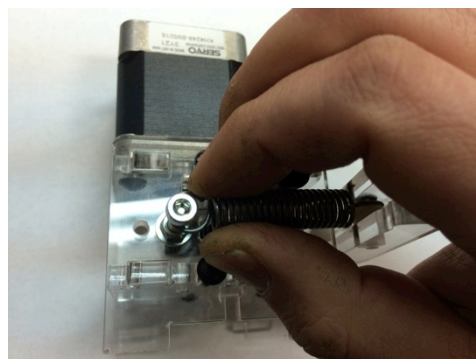
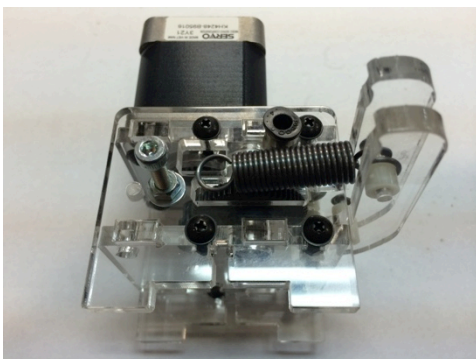
この M4 キャップボルトはスプリングの張力がかかります。アクリルの厚さ 5mm までねじ込んで下さい。



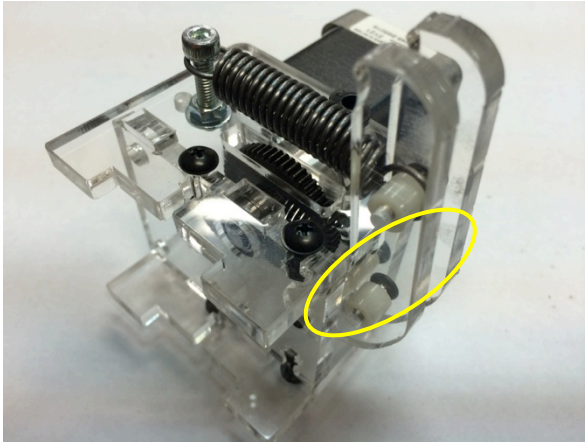
ナットとトッププレートの上に平ワッシャです。



キャップボルトがガタつかない程度にナットを締めて下さい。
※締めすぎ注意です。

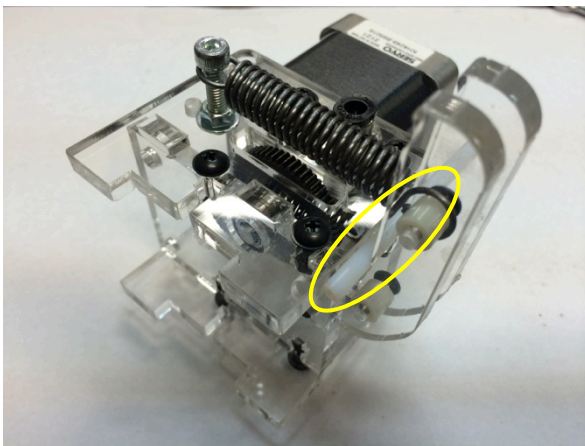


スプリングをキャップボルトに掛けます。ゆっくり作業して下さい。バチンッと云うような衝撃は厳禁です。



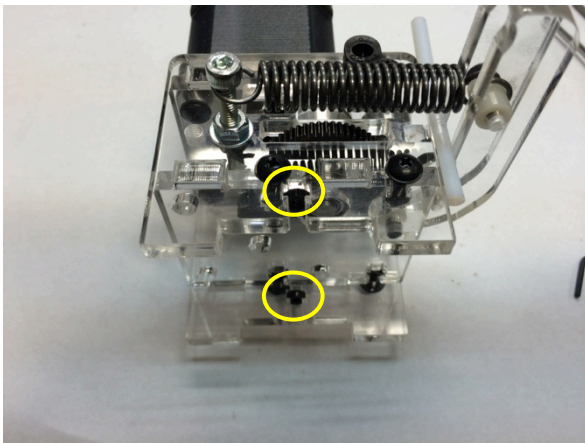
黄色丸の部分にテンション開放チューブを入れます。

手でアームを開いて入れます。



この様な感じです。

※このチューブを挟んでいるときは、フィラメントにモーターの動力が伝達しません。メンテナンス時や材料交換時に便利です。



本体取り付け時に黄色丸部分にナットが必要です。二箇所

ボンド等で予めナットを固定しておくと、後の作業が楽になります。

フィーダーが完成しました。